



ブリックホールに響いた稲佐サウンド！最高でした！！

つい先日まで11月とは思えないような暑い日が続いていましたが、ここにきて一気に冬の到来を感じさせるような寒さが続いています。校庭の木々もすっかり色づき、あざやかな紅葉が見頃を迎えようとしています。そんな深まりゆく秋の中、長崎市小学校音楽会が11月7日～9日の三日間、ブリックホールを会場に盛大に開催されました。

稲佐小学校は、初日となる7日の午後の部に参加しました。出場した4年生の子どもたちは、小音会を2学期の大きな目標に掲げ、9月から音楽の時間などを使って一生懸命練習に取り組んできました。披露する合奏曲はYOASOB I with ミドリーズの「ツバメ」です。これはNHKの子供向けSDGs番組のテーマソングであり、「みんなのうた」でも取り上げられた曲です。その希望に満ちたメロディーと心躍るダンスは子どもたちからも大変人気があります。練習当初はなかなか皆の息がそろわず苦戦することが多かったようですが、昼休みや放課後の時間にも練習を繰り返す中で少しずつ心がそろった演奏ができるようになりました。小音会前日には、出場学級を励ます会の中で演奏を披露し、全校の仲間から称賛の拍手と激励を受けました。そして迎えた本番では高まる緊張の中、大舞台でみんなの心が一つになったすばらしい演奏を披露することができました。この曲のテーマである「ともに生きる」を感情豊かに表現し、自分たちの思いを観客の皆様へ届けることができたのではないかと思います。その稲佐サウンドは優雅で迫力があり、稲佐っ子の誇りと自信に満ちた態度は見ていてとても気持ちの良いものでした。この小音会で身に付けた自信を胸に、これからの学校生活で更に飛躍してくれることを願っています。

当日は多くの保護者の皆様にご参観をいただきありがとうございました。また、これまで子どもたちを支え、励ましていただきましたことに心よりお礼を申し上げます。



最後に小音会を終えた4年生の感想を紹介します。

- ・私は小音会で聞いている人にいいなと思われるリコーダーの音を出せました。そして、この小音会のために、中休みや昼休みをつかってこの目標を達成するために練習をしてきて良かったなと思います。初めて音源を聞いた時には絶対に無理だと思っていました。でも、竹谷先生や平良先生からのアドバイスや、浦岡先生の放課後練習、5、6年生からのメッセージのおかげで無理だと思っていたことができて、しかも自分の思っている以上に自分はずいぶん演奏ができたと思います。なので、無理だと思うことにもチャレンジする力が付いたと思います。次は今の3年生がするので、そのときは自分に応援してくれた人たちよりも応援してあげて、今の5年生のように帰ってきた後も、みんなのことを思ってくれる人になりたいと思いました。

2年生が町探検を行いました

11月9日（木）、生活科「わたしの町はっけん」の学習の一環として2年生が町探検を行いました。子どもたちはこの学習をとっても楽しみにしており、2学期になってから自分たちが住む稲佐の町で働いている人や施設などについて調べる学習を続けてきました。この学習では、町を探検する活動を通して、施設やそこで働いている人々について考え、自分たちの生活には様々な人や場所と関わっていることが分かり、地域に親しみや愛着をもって適切に接したり、安全に生活したりしようとする態度を育てることを目的にしています。探検当日は、自分たちの立てた計画をもとに3つのグループに分かれて稲佐商店街や淵町交番周辺を調べて回りました。子どもたちは町探検サポーターの人たちの力もお借りしながらも、事前に考えた質問事項をもとに積極的にお店の人に質問したり、施設の様子を調べたりする活動に取り組みました。稲佐の町の人、こと、ものに触れる中で多くのことを発見し、地域を愛する心を育てることができたようです。今後は、町探検で発見したことをグループ毎にまとめ、全体で開き合う発表会を予定しています。どのような発表になるのか今から楽しみにしています。

町探検にご協力いただいた地域の皆様はこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



最後に町探検を終えた2年生の感想を紹介します。

- いろんなお店やいろんな家がありました。稲佐の町はにぎやかで、いろんな人たちやおじいちゃん、おばあちゃんたちも笑顔で稲佐の町はすごいなと思いました。
- この町には、いい人や、いいお店や、遊ぶ場所がいっぱいあっていいと思いました。もっと町のいろんなことや、いろんなところを知って、ママをおどろかせたいです。
- 町たんけんに行くとちゅうに、稲佐公園でおとしよりが元気にたいそうをしていたのが町のからだと思いました。
- 稲佐の町の人みんなあいさつをしてくれてやさしかった。